

# ふるさとを想い、ふるさとのために

私は国土交通省の行政官として、35年間働き、多くの現場を経験し、知識を身につけてきました。この経験・知識のすべてを総動員し、三重を一層元気にし、皆さんの笑顔につなげたい。鞠躬尽力し、故郷のために働きます。

きつきゅうじんりよく：身を慎み、誠心誠意全力を尽くすこと



- 県民の命と生活を守り抜くことが県政の最重要事項。
- コロナ禍に打ち勝ち、災害や大規模事故でも県民の安心・安全を実現できる県土や産業基盤と危機管理体制をつくることを絶え間なく遂行。
- 他県に抜き出た三重の食材、自然、観光資源を更に磨き上げ、県産品の販売力や観光客誘致力を伸ばす。
- 優しさや思いやりといった三重の美風を伸ばし、子供たちを含む全ての県民が明るく暮らせる社会を創っていく。
- そうした豊かな三重を子供や孫の時代へ、さらにその先へ連綿とつないでいけるよう、市町との連携を強化しつつ、あらゆる施策を総動員していく。

## 安全・安心な三重

- ・コロナの感染を防止することが、緊急の課題です。発症を予防し、重症化リスクを低減するワクチン接種を推進します。
- ・幾多の台風、豪雨災害に見舞われた三重県、そうした被害を可能な限り少なくし、さらには南海トラフ地震に備えるため県土の強じん化を実現するとともに、事故災害にも対応するため、海上保安庁などでの経験を活かし、危機管理体制を一層充実します。
- ・コロナに立ち向かっている医療従事者の方々の支援を充実するとともに、地域の偏在是正を含む県内医療体制の整備、がんや認知症などに対する予防医療の拡充を進めます。また、市町と連携した健康増進施策も推進します。



## 賑わいのある三重

- ・コロナの影響で打撃を受けている観光、交通、農林水産業などの事業者の方々を支援し、コロナ後の反転攻勢につなげるようにします。
- ・「日本書紀」にあるように、古来より三重は、風光明媚で食材が豊かな住みやすい「美し国」。コロナ収束後には、強力な観光客誘致の実施と県産品の売り込みを行います。
- ・自動車局長の経験を活かし、鉄道駅や道の駅を活用したレベル4の自動運転実験を推進。自治体を中心とした「助け合い交通」の制度の構築を支援。
- ・リニアの早期完成、開業を強力に働きかけます。自然災害に備え、道路の整備や耐震強化岸壁の整備を促進します。
- ・海洋を活用するブルーツーリズムなどの自然観光を促進し、「三重ブランド」による農林水産業の収益力の向上を図ることなど県南部地域の一層の活性化を推進します。



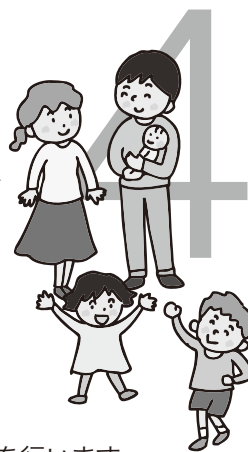
## 思いやりのある三重



- ・障がいに関係なく生活できるような社会作りを三重県がモデルを示しながら率先して提案していきます。そのために、交通、教育、観光などの場でのバリアフリー環境の整備を推進します。
- ・傷つきやすい子供たちを守るため、児童虐待の防止、里親支援、児童養護の体制の充実や子供の貧困対策など、子供の権利擁護の取り組みを推進します。
- ・ひきこもり状態にある人をはじめ、生きづらさや働きづらさを感じている方々を誰一人取り残さないよう、思いやりのある支援を行います。

## 未来を拓く三重

- ・「こどもは国の宝、三重の宝」です。まずは子供たちが生き生きと学べる環境をつくっていきます。いじめの根絶、不登校児童生徒の支援、少人数教育の推進などに取り組みます。
- ・人口減少をくい止める総合的な対策をあらゆる施策を総動員し実施します。妊娠を希望する女性が相談しやすい仕組みの充実、出生率の向上、他地域からの移住の促進、人口の社会増を図ります。
- ・「美し国三重」の基盤、森林や伊勢湾の環境の改善に積極的に取り組みます。「ゼロエミッションみえ」プロジェクトを起動。グリーン産業の育成も図り、環境産業立県を目指します。革新的な一層のデジタル化を進めます。



## 県民とともに歩む三重

- ・「信無くば立たず」常に県民に信頼される行政の実現のために、行政のあり方の不断の点検を行います。
- ・古代中国では「政治」のことを「聴政」と呼びました。徹底的に県民の声に耳を傾けるシステムを構築し、「聴いて聴いて、さらに聴いて、汗をかく行政」を実現します。
- ・難しい問題、困難な問題を先送りせず、皆さんに分かりやすく提示し、「万機公論に決すべし」の行政展開を行います。
- ・三重の財政を預かる身として、不断のチェックと適正な予算策定と執行に心がけます。二本松藩の「戒石銘」に思いをいたし、職員の士気を落とさないようしながら、行政のムダの排除、効率化に努めます。

無所属

いちみ勝之

かつゆき

58歳

### プロフィール

S38年1月30日生 亀山市出身 ●経歴／私立高田学苑高校、東京大学法学部、S61年4月運輸省に入る、H13年7月中部運輸局自動車部長、H18年9月国土交通大臣秘書官(冬柴大臣)、H30年5月海上保安庁次長、R元年7月自動車局長 ●趣味／山歩き 絵画鑑賞 蕎麦打ち 空手